



**Rational ClearQuest 添付ファイル パッケージ  
管理ガイドおよびリリース ノート  
バージョン 2.1**



## 目次

1. 現在の [添付ファイル] タブに対する変更点 .....	3
2. CLEARQUEST 添付ファイル パッケージの使用時のその他の相違点 .....	5
2.1 本バージョンの制約事項 .....	5
3. 外部添付ファイル レコード タイプ .....	5
3.1 AXPATTACHMENTCONTROL .....	5
3.1.1 AXPATTACHMENTCONTROL レコード タイプのフィールドの詳細 .....	6
3.1.2 AXPATTACHMENTSCONTROL レコード タイプの変更 .....	9
4. RATIONAL CLEARQUEST 添付ファイル 1.0 からのアップグレード .....	10
5. 既知の問題と制約事項 .....	10
商標の帰属表示 .....	13

## ClearQuest 添付ファイル管理ガイドおよびリリース ノート

### バージョン 2.1

---

#### 外部添付ファイルのサポート

添付ファイルに対する ClearQuest 内蔵サポートにより、添付ファイルはすべて ClearQuest データベースに保管されます。時間が経つに従い、データベースに保管される添付ファイル数は常に増大していき、ディスク スペース要件およびパフォーマンスの両方にかかなりの影響を及ぼし始めます。ClearQuest 添付ファイル パッケージは、添付ファイルを ClearQuest データベースから、大量のファイル进行处理するように適切に設計された別のメディアに移動します。

## 1. 現在の [添付ファイル] タブに対する変更点

外部添付ファイルが有効な場合、レコードのすべての添付ファイルは、ClearQuest データベースに保管されないで、AXPAttachmentControl レコード (下記参照) に定義された外部サーバーに移動されます。この変更によって、次の利点が得られます。

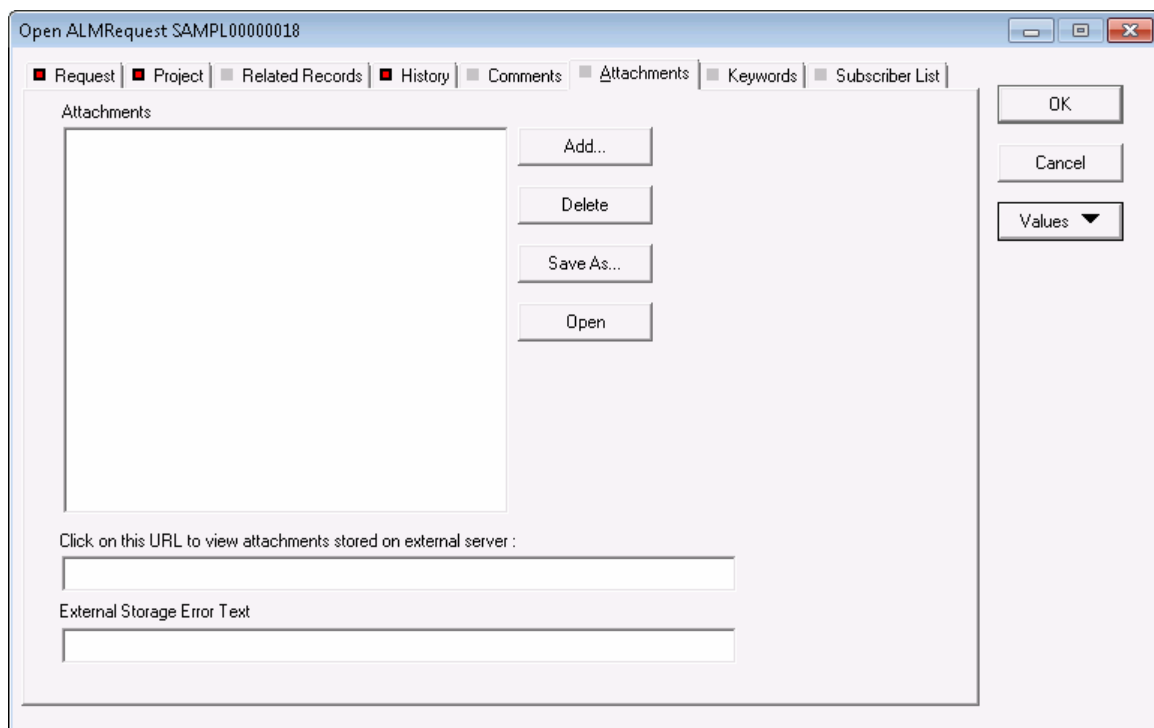
- ClearQuest データベース外に大規模オブジェクトを保管できる (URL 形式での参照でオブジェクトを置換)。
- 大量のオブジェクトが ClearQuest レコードに添付されることによるパフォーマンス低下がなくなる。
- ClearQuest MultiSite® デプロイメントでの多数の大規模オブジェクトのレプリカ生成および同期化のネットワーク オーバーヘッドがなくなる。

添付ファイルの外部記憶と取り出しを有効にするために、[添付ファイル] タブに次の 2 つの新規フィールドが追加されました。これは両方とも読み取り専用です。

- 外部サーバーに保管された添付ファイルを表示するには、この URL をクリック (Click on this URL to view attachments stored on external server)
- 外部記憶エラー テキスト

## ClearQuest 添付ファイル管理ガイドおよびリリース ノート

### バージョン 2.1



**フィールド: [外部サーバーに保管された添付ファイルを表示するには、この URL をクリック (Click on this URL to view attachments stored on external server)]**

このフィールドには、添付ファイルの外部ロケーションのネットワーク URL が含まれています。これには、リンクがクリックされたときに開く Web ブラウザを介してアクセスできます。

外部添付ファイルが有効な場合、添付ファイルはすべて ClearQuest から移動されて外部記憶サーバーに配置されます。ClearQuest は外部サーバーに保管されたどのエレメントも個別に制御しなくなり、添付ファイルは外部サーバー用に提供されているツールで管理する必要があります。

**フィールド: [外部記憶エラー テキスト]**

このフィールドは、添付ファイルの処理中に問題が発生した場合にエラー メッセージを表示するために、外部記憶サーバーが使用します。

## 2. ClearQuest 添付ファイル パッケージの使用時のその他の相違点

添付ファイルが外部記憶サーバーに移動されると、ユーザーは ClearQuest で添付ファイルを表示できなくなります。レコードに添付ファイルがあることを示す唯一の標識は、[外部サーバーに保管された添付ファイルを表示するには、この URL をクリック (Click on this URL to view attachments stored on external server)] フィールドにある URL です。

### 2.1 本バージョンの制約事項

- ClearQuest クライアントを使用して添付ファイルを削除することはできません。外部サーバー上のファイルを削除するには、FTP クライアントなどの外部ファイル管理ツールを使用する必要があります。
- 既に移動されたファイルと同じ名前のファイルを添付したときの結果は、定義されていません。この結果は、サーバーのセキュリティ構成によって異なります。
- 使用する添付ファイル FTP サーバーは、ファイルとディレクトリの作成および読み取りのみをサポートし、ファイルとディレクトリの名前変更または削除をサポートすることはありません。

## 3. 外部添付ファイル レコード タイプ

### 3.1 AXPAAttachmentControl

外部添付ファイル機能を構成するために、スキーマに新規レコード タイプが追加されました。

外部添付ファイル パッケージは、FTP (ファイル転送プロトコル) およびさまざまなオフサイト ファイル ストレージ マネージャをサポートします。4.1 AXPAAttachmentControl レコード タイプは、リモート ファイル サーバーへの接続の確立に必要な基本的な情報の収集を目的としています。

外部添付ファイル機能を構成するには、必要な情報を含むこのいずれかのレコードを管理者が登録します。このレコードは、外部サーバーの構成を変更する場合、後で変更できます。AXPAAttachmentControl レコードが登録されて構成されるまで、添付ファイルは ClearQuest データベースに保管されたままになります。

次のイメージで、このレコード タイプと関連付けられた新規フォームを示します。

## ClearQuest 添付ファイル管理ガイドおよびリリース ノート

### バージョン 2.1

Submit AXPAttachmentControl

■ AXPAttachmentControl

Name: AXPAttachments ☐ Disable transfer to external storage

Account ID:

Account Authentication:

Control Options:

Server Name:

Storage Location:

Max Attachment File Size:

Reference Location:

Security Context:

Last Updated By:  Last Updated On:

Created By:  Created On:

OK Cancel Values

**注:** 現行実装では、1 つの ClearQuest データベースに対して許可されるのは 1 つの AXPAttachmentControl レコードのみです。

#### 3.1.1 AXPAttachmentControl レコード タイプのフィールドの詳細

**名前:**

AXPAttachmentControl レコードの名前 (デフォルトは *AXPAttachments*)。このフィールドは読み取り専用です。

**アカウント ID:**

外部添付ファイル サーバーでの認証に使用されるアカウント (ユーザー ID など)。

**アカウント認証:**

アカウント ID のアクセスに必要な認証情報 (パスワードなど)。

**制御オプション:**

リモート サーバーへの接続の確立に必要な制御情報。

**サーバー名:**

リモート添付ファイル サーバーの名前。名前の形式は、サーバーのタイプによって異なります。FTP の場合はサーバーの完全修飾名です。

## ClearQuest 添付ファイル管理ガイドおよびリリース ノート

### バージョン 2.1

---

#### 記憶場所:

添付ファイルの保管のために指定されたアカウント ID で使用されるサーバー上の場所。

#### 最大添付ファイル サイズ:

ClearQuest データベースに保管できる添付ファイルの最大サイズ (バイト単位)。このフィールドは、外部サーバーが接続を受け入れることができない場合に

ClearQuest データベースを保護するために用意されています。外部サーバーが使用不可の場合、添付ファイルは ClearQuest 内にローカルに保管されます。このフィールドには、ローカルに保管される添付ファイルのサイズを管理可能なサイズに制限する手段が用意されています。サイズ 0 (ゼロ) は、添付ファイルはローカルに保管されないことを示します。サイズ -1 (マイナス 1) は、ローカルに保管される添付ファイルのサイズの制限はないことを示します。このメカニズムを使用して

ClearQuest データベース内に保管された添付ファイルは、外部記憶に自動的に移動されません。サーバーへの接続が再確立された場合、ファイルを外部サーバーに移動させるにはレコードを手動で更新する必要があります。

次も参照してください: 「外部記憶への転送を無効にする (Disable transfer to external storage)」

#### セキュリティ コンテキスト:

このオプションを使用すると、このレコードにセキュリティ コンテキストを使用可能にすることができます。このレコード タイプを保護する方法の詳細については、セクション 4.1.2 の「AXPAttachmentsControl レコード タイプの変更」を参照してください。

#### 参照場所:

外部添付ファイルを見つけるのに無許可 (匿名) アカウントを使用できる、サーバー上の場所。このフィールドは [記憶場所] フィールドと関連付けられていますが、データへのアクセスの外部記憶の管理方法に応じて異なることがあります。

#### 外部記憶への転送を無効にする (Disable transfer to external storage):

このオプションは、外部添付ファイル機能を一時的に無効にする場合に使用できます。このオプションを選択すると、外部サーバーには接続されず、[最大添付ファイル サイズ] フィールドの値は無視されます。

#### 最終更新者:

レコードを更新した最後の ClearQuest ユーザーの ID を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

#### 最終更新日時:

最終更新日付を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

#### 作成者: < [作成者 (Created By)] ではない? >

レコードを作成した ClearQuest ユーザーの ID を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

## ClearQuest 添付ファイル管理ガイドおよびリリース ノート

### バージョン 2.1

---

#### 作成日時:

レコードが作成された日付を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

#### 制御オプション

[制御オプション] フィールドを使用すると、特定の外部サーバー実装の外部添付ファイル構成設定値を管理できます。[制御オプション] フィールドは、KEY=VALUE の組み合わせ (セミコロン [;] で区切られる) を含む、フリーフォーマットのテキスト文字列です。次のリストで、この構成に使用できる一般オプションを説明します。

- TYPE:** 外部サーバーのタイプ。現在サポートされているのは、**FTP** と **NONE** のみです。**FTP** はデフォルトです。  
**TYPE** に **NONE** を設定すると、**DISABLED** および **[外部記憶への転送を無効にする (Disable transfer to external storage)]** の場合とほとんど同じ方法で外部添付ファイル処理が無効にされます。
- DISABLED:** **TRUE** または **FALSE** にすることができます。**TYPE=NONE** と等価です。デフォルトは **DISABLED=FALSE** です。

TYPE が FTP の場合は、次の追加オプションを指定できます。

- PORT:** リモート FTP サーバーへの接続に使用する通信 IP (インターネット プロトコル) ポート番号。デフォルトはポート番号 21 です。
- BLOCKSIZE:** ファイル転送時に使用されるブロック サイズ。デフォルトは 4 KB (キロバイト) です。

#### 例:

##### TYPE=FTP

最も単純な構成です。ターゲット サーバー タイプは FTP で、他のすべてのオプションはデフォルト値に設定されます。

##### TYPE=FTP;PORT=5021;BLOCKSIZE=1024

ターゲット サーバー タイプは FTP で、そのターゲット サーバー上の FTP が使用するポートは 5021 であり、転送ブロック サイズは 1024 バイト (1 キロバイト) です。

##### TYPE=NONE;PORT=21

オフサイト ストレージは無効です。これは、**[外部記憶への転送を無効にする (Disable transfer to external storage)]** オプションを選択したのと同等です。



#### 3.1.2 AXPAttachmentsControl レコード タイプの変更

AXPAttachmentsControl レコード タイプへのアクセスを制限するには、次のステップを実行します。(これらのステップは、ClearQuest Designer や、ClearQuest パッケージの編集のプロセスや、さらに ClearQuest のセキュリティ コンテキストについても知識があることを前提としていることに注意してください。これらのトピックに詳しくない場合は、ClearQuest のマニュアルで詳細情報を参照してください。)

- 1) 次のコマンドを実行してパッケージの編集を使用可能にします。  

```
packageutil enablepackageediting -dbset <dbset-name> <admin-id> <password> -enable <user-id>
```
- 2) Clearquest Designer を起動して、状態なしレコード タイプのところにある AXPAttachmentsControl レコードを見つけます。このレコード タイプで、次のように SecurityContext フィールドを変更します。
  - a. 参照先レコード タイプを変更して、セキュリティ コンテキストとして使用するレコード タイプを指定します。例えば ALM パッケージから ALMSecurityPolicy など、既存のレコード タイプを使用することを考慮してください。ALM パッケージを使用しないときは、既に持っているレコード タイプを使用してください。そうでない場合は、新規のレコード タイプを作成する必要があります。
  - b. [セキュリティ コンテキスト] チェック ボックスを選択してセキュリティを使用可能にします。
- 3) SecurityContext フィールドの動作を必須に変更します。
- 4) スキーマを実稼働環境にデプロイする前に、スキーマの検証とテストを行います。
- 5) 次のコマンドを実行してパッケージの編集を使用不可にします。  

```
packageutil enablepackageediting -dbset <dbset-name> <admin-id> <password> -disable <user-id>
```

## 4. Rational ClearQuest 添付ファイル 1.0 からのアップグレード

Rational ClearQuest 添付ファイル 1.0 から Rational ClearQuest 添付ファイル 2.1 へのアップグレードでは、アップグレード前またはアップグレード後の手順は必要ありません。添付ファイルを FTP サーバーに保管する新機能は、AXPAttachmentsControl レコードにこの機能が構成されるまで有効になりません。この構成が行われるまで、添付ファイル機能はバージョン 1.0 の場合と同じままです。

## 5. 既知の問題と制約事項

1. FTP が実行中でない場合、添付されるファイルの名前とそのファイルの説明の長さには、50 文字の制限があります。このため、ファイル名または説明が切り捨てられることがあります。

## ClearQuest 添付ファイル管理ガイドおよびリリース ノート

### バージョン 2.1

---

#### 特記事項

© Copyright IBM Corporation 2007, 2011

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの 評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒242-8502

神奈川県大和市下鶴間 1623 番 14 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

**以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。** IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部では ありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムと その他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*Intellectual Property Dept. for Rational Software  
IBM Corporation  
5 Technology Park Drive  
Westford, MA 01886  
U.S.A.*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用するこ とができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資 料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

## ClearQuest 添付ファイル管理ガイドおよびリリース ノート

### バージョン 2.1

---

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で 決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお問い合わせします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

### 商標の帰属表示

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。